

平成30年第4回木津川市議会定例会（12月13日）

一般質問通告書

1 西山 幸千子	
質問事項： 通学路の危険箇所改善要望から見た行政地域制度の役割	
質問 要 旨	<p>以前より何度か危険で問題がある通学路として取り上げていた、梅美台小学校南側の信号機がある交差点。柳生へ抜ける中ノ川トンネルが開通した事でトラックや乗用車の通行が大幅に増えました。また、城山台の住民が増えたことや、梅美台での宅地造成工事などで、普段と違う車の流れがあります。今後はもっと通行量が増える事も予想されますが、市はどのように考えていますか。</p> <p>また、行政地域制度による地域の要望・意見は、行政に伝わっていますか。</p> <p>そこで、以下の点を聞きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 梅美台に住む保護者から、何カ所か通学路の危険箇所の改善を求める声が出ていますが、総務部・教育部はそのことを把握していますか。また、それはどのような内容ですか。対応をどう考えていますか。 (2) 保護者ができる対応方法などがあれば、アドバイスしましたか。そのことを保護者に伝える努力はしましたか。 (3) 要望事項を関係機関（警察等）に伝えましたか。伝えていないとすればなぜですか。 (4) 地域要望をどのように把握していますか。また、城山台や梅美台などのように地域によってはまだ自治会等がないところもあります。その場合は住民からはどのような手段で要望するのですか。要望を把握する手段など、地域長にどう指導していますか。 (5) 「地域の総意」は、どのように判断しますか。 (6) 学校で保護者から通学路の危険箇所や防犯カメラ設置の相談があった場合、どう対応していますか。また、信号機や歩道の改善の相談の場合はどうですか。
質問事項： 放課後児童クラブの改善を	
質問 要 旨	<p>城山台がまちびらきしたことにより、子どもたちが急増しています。それに伴い待機児童の問題が出てきています。やっとの思いで遠くにある保育園に入った場合も、兄弟姉妹で同じ保育園に入れなかった場合でもほとんどは地元の小学校に行きます。それまではなんとか分散していたから対応できていても、同じ小学校に入るとなると一気に児童が増えます。</p> <p>そこで、以下のことを聞きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 城山台放課後児童クラブの新年度の受け入れはどうなりましたか。 (2) 放課後児童クラブの指導員不足の対応をどう考えていますか。 (3) 小学校で配慮が必要と思われる児童はどのくらいいますか。直近の人数を実数と率で示してください。 (4) 同じく放課後児童クラブでは配慮が必要と思われる児童の把握はどうなっていますか。また、教育部と連携をとっていますか。 (5) 放課後児童クラブが利用している移動図書館が廃止になった後の対応はどうなりますか。廃止したことにより、指導員にいま以上に負担がかかりませんか。 (6) 市のHPがリニューアルされましたが、本当に「安心して子どもを産み育てることができる子育て支援No.1のまちを目指しています！」に市はなっていますか。

2 西岡 政治	
質問事項： ブロック塀の指導と対策を	
質問 要 旨	<p>東日本大震災の教訓が生かされず、大阪府北部地震でも、ブロック塀が倒れ尊い命が失われました。</p> <p>ブロック塀は、建築基準法の定めにより設置することになっています。</p> <p>建築物は、建築確認申請を提出し審査・検査を受けますが、ブロック塀は、建築物完成後に設置されるのが、ほとんどであり、審査・検査の対象外となっています。</p> <p>自宅のブロック塀は、個人所有物であります。再び悲劇を繰り返さないよう、高さ規制や法の</p>

質問要旨	<p>定めに基づき、設置されているかいないかを全市的に調査・指導等が必要と考えます。そこで、</p> <p>(1) 市道に接する道路に対する高さ規制（1. 6 m以内）</p> <p>(2) 法の定めに基づき設置されているかの確認は行っているのか。</p> <p>(3) 補強が必要なブロック塀に対する市の指導と対策（助成）は。</p>
------	--

3 尾崎 輝雄	
質問事項： 待機児童対策について	
質問要旨	<p>木津川市では城山台地区を中心に、人口増加が続いている。特に、城山台地区では、木津駅前東線の両側で大規模な民間開発が進められている。今後、保育園の入園申し込みが増加するものと考えられるが、市の受け入れ体制は十分か。対策は、どう考えているのか。</p> <p>そこで質問として</p> <p>(1) 現在までの保育園の申し込み状況と、定員の確保はできているのか。</p> <p>(2) 保育園の民営化を進めている中で、民間保育園の定員を増やすことは可能か。</p> <p>(3) 公立保育園の定員を増やすことは可能か。</p> <p>(4) 来年度の児童クラブの申し込み状況と、定員の確保はできるのか。</p>
質問事項： 今後の事業の見通しは	
質問要旨	<p>1 木津駅東側の整備方針について</p> <p>(1) 内水排除対策の進捗状況は。</p> <p>(2) 木津駅東地区は、木津かんがい排水事業が行われているが、農業振興地域を除外した場合は、国の補助金を返還する必要があるのか。</p> <p>(3) 今年、11月16日にオープンした駐車場の利用状況は。 (100台のうち、月極め63台・コインパーキング37台)</p> <p>2 木津東地区の約55haのうち、UR都市機構所有の用地、約19haをF S Jホールディングス株式会社が購入したが、今後の展開について</p> <p>(1) 市の担う役割は、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 造成については、組合施行で実施されると思うが、どんな方法により行う予定と聞いているのか。</p> <p>(3) 都市計画の用途地域については、市はどのように考えているのか。</p>

4 長岡 一夫	
質問事項： 3期目の市政を問う	
質問要旨	<p>市長は、3期目の選挙において、地方交付税の特例が縮小される中で、その対策を着実に実施できるのが木津川市の正念場であり、行財政改革を進め、限られた財源で最大限効果のある施策を実施し、子や孫の未来に健全財政を引き継ぐと表明し、マニフェストで市民に約束されました。よって、以下の事項の進捗状況等について、市長にお聞きします。</p> <p>(1) 当尾や上狛茶問屋など、地域の資源を生かし、活性化できたのか。</p> <p>(2) 企業誘致の状況と今後の見通しは。</p> <p>(3) 京都府と連携した「お茶の京都」をどのように分析しているのか。</p> <p>(4) 保育園待機児童ゼロは、達成しているのか。</p> <p>(5) 通学路への防犯カメラの設置で、安全対策の強化は万全か。</p> <p>(6) サンタモニカとの姉妹都市締結をしたことで、国際交流の今後の発展は。</p> <p>(7) クリーンセンターの稼働後の取り組みと環境問題に対する啓発と進め方は。</p> <p>(8) 宇治木津線の事業化の今の動きは。</p> <p>(9) 地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまでの進捗状況は。</p> <p>(10) 障がい者支援について、児童デイサービスと働く場は拡充したのか。</p>

質問事項： 狭い踏切への対策は	
質問要旨	府道天理加茂木津線の相楽中部消防本部前から城山台に向かう道路には、すぐにＪＲ関西本線の踏切があるが、幅が非常に狭く対向ができない。その上、交通量が増えているのが現状である。市は、今後の対策をどのように考えているのか。

5 森本 茂	
質問事項： 鹿背山川向1番地2の「環境の森センター・きづがわ」は、何年間稼働させるのですか	
質問要旨	<p>私の9月定例会において、鹿背山区・法花寺野区をはじめ本市の市民の代弁者として、クリーンセンターを何年間本市で稼働させるのですか、との問いに、市長は、「年限を区切る管理は考えていない。」ということですが、広域事業としての公平な負担としては、次は、もう一方の構成町に持っていただくということは、はっきりしているのではないのでしょうか。そのビジョンがないとなると、本市がずっとクリーンセンターを持ち続けるのですか。市長の見解をお伺いします。</p> <p>鹿背山区と法花寺野区は、昭和38年から17年間、今の同じ場所で「ごみ焼却場」が稼働していました。</p> <p>私たちは、嫌悪施設であるごみ焼却場を2回も負担を強いられているのです。</p> <p>今後のクリーンセンター設置のビジョンを市長に求める権利があると考えます。市長に明確な、ビジョンの答えをお伺いします。</p> <p>そして、宅地建物取引業法でも嫌悪施設としているごみ焼却場が、今年から鹿背山川向で最低でも約30年位は稼働することとなると思われます。両地区の地域活性化の配慮からインフラ整備等の要望に対して、誠意ある早期対応がなされるべきと考えます。再度、以下の市長の実行力についても見解をお伺いします。</p> <p>鹿背山区の墓地への新進入路の建設と駐車場の設置であります。市道12号（二反田、古寺線）と木2号（中切、氏神線）の交差する付近から新進入路を建設していただき、駐車場の設置も施工していただきたいと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p> <p>また、東中央線についてですが、2020年3月末には完成すると聞いていますが、騒音や排ガス等の環境測定について、2016年3月に鹿背山区より、5カ所で行ってほしいと、府土木事務所と本市まちづくり事業推進室に申し入れていたが、どうなるのか市長の見解をお伺いします。</p> <p>最後に、東中央線の大平町入口付近に万葉歌碑の建立をと、区からも要望していますが、本市の事業として、施工はまちがいないのか、また、いつごろ完成するのかを併せてお伺いします。</p>
質問事項： 小・中学校の体育館に空調設備等を	
質問要旨	<p>小・中学校の体育館は、体育（スポーツ）の学習等をするところであり、文・武両道の意味からも、教育施設の1つである。教室と同じように、空調設備が必要です。</p> <p>教育長の見解をお伺いします。</p> <p>また、小・中学校の体育館（18カ所）は、災害時の指定避難所になっています。その内の3カ所（木津・加茂・山城に各1カ所）ぐらいには、ぜひとも空調設備の設置を考えるべきです。</p> <p>今、国は、防災基盤の整備事業並びに公共施設及び公用施設の耐震化事業で、東日本大震災及び平成28年の熊本地震を教訓に全国的に緊急に実施する必要がある、即効性のある防災・減災の事業を対象として、2021年3月末までを事業年度として、緊急防災・減災事業債100%で、交付税算入率70%、自治体負担は3割です。これを活用して、避難者の生活環境整備のために、空調設備やWi-Fiとバリアフリー化の促進が必要と考えるが、市長の見解をお伺いします。</p>
質問事項： 行財政のイノベーションの視点から	
質問要旨	<p>本市、城山台に大きくそびえ立つ配水池は、木津川市、特に、旧木津町からは、全ての場所から見るといえるくらいランドマーク的な構築物です。しかし、命名権に応募いただける企業が、あられもないのが現状です。私は、前に質問したとき、市長がライトアップがよいのではと言われたのを覚えています。今、久御山町も京都放送久御山送信所のラジオ電波塔のライトアップを行い、まちの魅力的なシンボルにと期待して実施されています。本市も城山台の配水池にライトアップを施行すれば、今後、企業からのネーミングライツの応募も期待できると考えます。市長の見解をお伺いします。</p>

質問 要 旨	<p>また、今、国で水道法の改正審議があり水道の運営権を民間に委託できるとのことですが、これについて、政策的にどのようにお考えか、市長にお伺いします。</p> <p>最後に、本庁舎南側の公用車駐車場は2F建てにし、2F部分を太陽光発電にして、庁舎の電力にするか、売電して歳入増に取り組むべきと考えるが、市長の見解をお伺いします。</p>
質問事項： 市民からの声	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 当該区から要望されている城山台の街区表示板の設置を進める為に、お店や企業と連携する方法で、前向きに検討できないのか。市長の見解をお伺いします。 2 東中央線の鹿背山大平町のJR関西本線と交差する付近の、特に、M邸との距離は現地で見ると40mくらいしかないので、M邸の方も是非とも防音壁を設置していただきたいと要求されている。市長は、どう対応を考えているのかお伺いします。 3 城山台の放課後児童クラブについて。城山台の学童保育の会の方々が、現在121人の子どもたちが放課後児童クラブに通っているがその実態は、教育、子育ての環境ではないと言っておられる。来年度は211人となるが、これでは放課後の児童・生徒の健全な育成を図れるとは考えられない。市長の見解をお伺いします。 4 「七夕祭り」の復活を望む声が大きくなっています。私も以前から質問において「七夕祭り」を復活すべきと申し上げてきましたが、いまだ実現しておりません。 本市の夏のイベントであります夏祭りの納涼打上げ花火が今年は台風の影響により中止となりました。このこともあって、以前のように七夕祭りがあって、その後日に打上げ花火と2つの大きなイベントがあれば、何とか1つは実施できて、子どもさんを始め市民みんなのよき夏の思い出になるとの思いで、七夕祭りの復活の声をあちらこちらで聞いております。七夕祭りを復活してください。市長の見解をお伺いします。
質問事項： 市長の今後の課題解決を問う	
質問 要 旨	<p>「国家百年の大計」といわれるように、本市のまちづくりについても12年くらいでは、まだまだ創れてないと言わざるをえない。今後の課題としては、主なものとして、JR奈良線・片町線複線化の完成、宇治木津線の実現、335号の西へ向けての拡幅、木津合同樋門の内水対策の解決、耕作放棄地対策、空き家対策、中部消防本部の移転、農商工業の振興対策、持続可能な財政運営対策等々、課題が山積みしているが、市長は、今後どのように課題を突破していこうと考えておられるのか見解をお伺いします。</p>

平成30年第4回木津川市議会定例会（12月14日）

一般質問通告書

1 炭本 範子	
質問事項： 聞こえの共生社会づくり条例の制定を	
質問 要 旨	<p>平成27年9月定例会において「手話言語条例の制定を」と質問いたしました。聞こえに障がいを持つ人にとっては、地域で暮らす上で困難や不便さを感じておられます。手話＝言語ということを理解し、普及するにはまだまだであります。</p> <p>この8月、府において、「聞こえの共生社会づくり条例」が制定されました。27年9月に質問した条例の制定は、本市でも必要と思います。その後、どう研究して検討したのか、また、府が策定されたことから市としてどう取り組むのか、お伺いします。</p>
質問事項： 福祉避難所の機能は	
質問 要 旨	<p>今年、6月18日の大阪府北部地震、7月9日の西日本豪雨、9月4日の台風21号、9月30日の台風24号と豪雨や台風が近畿、木津川市を襲いました。学校などの避難所が開設され高齢者、1人住まいの方、要配慮者、寝たきりの方など多くの方が避難されました。避難所では毛布が配布されましたが、高齢者や障害のある方、要配慮者の方には大きな支障があり、たとえ一晩であっても避難生活はたいへんです。そこでお聞きします。</p> <p>(1) 今年度、避難所を開設した時の、避難者の人数は。また、避難した方の中で、高齢者や、要介護者、障がいのある方は何人でしたか。</p> <p>(2) 要支援者台帳の整備状況は。</p> <p>(3) 避難に関する問い合わせはどうだったか。</p> <p>(4) 市の指定する福祉避難所との連携はどうだったか。</p>
質問事項： 地域とともにある学校づくりを	
質問 要 旨	<p>前回、コミュニティスクールの導入について質問いたしました。「本市としても、近隣の事例について聞き取りや訪問で調査を進めて研究している」。また、「モデル的に導入の検討を進めていきたい」と答弁されました。</p> <p>先日の新聞報道で『府教委は導入すれば、「子どもは地域に育ててくれるとの安心感があり、住民も子どもの成長を感じ取ることが生きがいになる。より多くの自治体に広めたい」としている』との記事が掲載されました。また、その中で「10月には導入校の事例や利点を紹介する冊子を作成し、各市町村や学校に配布。年明けには説明会を開いて、導入校を増やしていく計画だ。」と掲載されています。現在の進捗状況と、今後どうしていくのかお伺いします。</p>
質問事項： 木津川アート2018を終えて	
質問 要 旨	<p>「恋する恭仁宮」をテーマに、木津川アートが11月3日から18日までの16日間、瓶原地域で開催されました。佐藤プロデューサーの想いが通じたのか、小春日和が続くアートにふさわしい日々でした。地域アートとしては、成功したと思っています。</p> <p>そこで、以下の点をお聞きします。</p> <p>(1) 開催までに心配事はなかったのか。</p> <p>(2) 今年度の事業が終わり、反省することと感想は。</p> <p>(3) 来場者数など、数字で表すとどうなる。</p> <p>(4) 2年後の開催について、どのように考えているのか。</p>

2 倉 克伊	
質問事項： 市の現状と今後の展望について	
質問 要 旨	<p>我が国は、世界的に見ても急激な少子高齢化、人口減少時代に突入している。木津川市は、全国的にも稀な人口増加の自治体として知られているが、減少へ転じる波は着実に近づいており、今後の市政運営に大きな影響を与えるものと考えます。</p> <p>これらの状況を踏まえ、市政の現状と今後の在り方を問う。</p>

質問要旨	<p>(1) 現在、市全体の人口は増加しているが、年齢別等の詳細な分析は行っているのか。また、その分析結果をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 「少子高齢化の進展」を踏まえた市政の運営について、具体的に取り組んできた施策は。また、その成果は。</p> <p>(3) 健康志向が高まるなか、市民が利用する公共施設について、施設の禁煙の在り方を市はどのように考えているか。(市長部局及び教育委員会管理施設含めて)</p> <p>(4) 「市の継続的な発展」のための具体策について、行財政改革を進めながらも取り組んできたもの、また、今後取り組むべきものは。 (道路、教育、経済等の分野ごとの代表的な項目)</p> <p>(5) 「市民ファースト」という言葉がよく取り上げられるが、市長にとって市民ファーストとは、どのように考えているのか。</p>
質問事項： 行政の効果的、効率的なスリム化に向けて	
質問要旨	<p>市では厳しい財政状況の改善に向け、本年度から「第3次行財政改革大綱」「第3次行財政改革行動計画」に基づく取り組みが進められている。その中には「豊かなアイデアで改革する自治体」として、組織の見直しといった具体的な項目も明記されている。</p> <p>そこで、以下のことをお聞きする。</p> <p>(1) 「組織体制の見直し」と「定員適正化計画」について、本年度中に策定されると聞かすが、現在の検討状況とその方向性は。また、これらに合わせ「窓口業務の民間委託」の考えは。</p> <p>(2) 組織体制の見直しによる両支所機能や出先機関への影響は。</p> <p>(3) 「定員適正化計画」のなかで、2020年度から新たに導入される会計年度任用職員制度移行への検討は進んでいるのか。職員の現在までの採用状況と今後の採用予定も併せて聞く。</p>

3 島野 均	
質問事項： 恭仁小学校の現状と今後の発展のために	
質問要旨	<p>1 恭仁小学校児童数の現状は。</p> <p>2 今後、恭仁地域に移住者が来られた時、受け入れ対策はあるのか。</p>
質問事項： 居住地に早く下水道を	
質問要旨	<p>1 木津向陽台やその他同じような調整区域に居住されている方々が、今か今かと待ち望んでいる下水道は、いつ整備する予定か。</p> <p>2 下水道未接続の市営住宅について、今後の接続の予定は。また、夏の台風で被災した市営住宅の現状(鈴畑団地)と今後の修繕計画は。</p>
質問事項： 横断歩道(白線)と市道の修復計画は	
質問要旨	<p>1 市内の横断歩道や道路の白線等が消えて分からない部分の修復と、早期発見ができるよう改善を。</p> <p>2 修繕が必要となっている道路の不具合に関する市民からの通報手段を拡充するため、「道路不具合通報システム」の導入を検討しては。</p>

4 森岡 譲	
質問事項： 河川はいつもきれいに	
質問要旨	<p>平成28年9月議会の一般質問で、河川内の除草を年何回実施しているのか。また、堆積した土砂等の浚渫は、何年ごとに実施しているのかの質問に対して、河川の除草については、比較的大きな4河川は、年1回か2回除草工事を行っている。土砂等の撤去については、定期的ではなく河川の通水を阻害する程度の土砂の堆積があった場合は、適宜浚渫作業を行なっている。しかし多くの河川や水路を市において除草や清掃をすることは困難であり、毎年、地域の皆様の清掃活動や、農地の受益者などの協力のもと管理しているとの答弁でありました。</p>

質問要旨	<p>しかし、河川内の除草や土砂等の浚渫を怠ると、大雨のときに流れを阻害し、大きな被害につながる。また、日常的にも景観を悪くする。そこで、次の点について聞く。</p> <p>(1) この2年間で除草、浚渫の事業は、何河川あったのか。</p> <p>(2) 河川内の土砂等の浚渫は、毎年予算を確保しながら、順位を決め、渇水期に行うべきだと考えるがどうか。</p>
質問事項： 消えたライン表示の修復を	
質問要旨	<p>これまでからも何回も質問するが、ライン表示は車や自転車を運転する者も、歩行者もライン表示で判断し行動するものだが、そのライン表示が消えて見えない場合は判断に迷うことがある。夜ともなれば見逃すこともある。事故を未然に防ぐためにも、次の点について聞く。</p> <p>(1) この3年間でどれくらいライン表示の修復がなされたのか。</p> <p>(2) 今年度予算で横断歩道の表示、特に学校周辺の横断歩道の修復は、何箇所あったのか。</p> <p>(3) 教育委員会として、学校周辺の横断歩道等のライン表示の調査は、毎年しているのか。</p>

5 伊藤 紀味枝	
質問事項： 交通インフラ整備は	
質問要旨	<p>平成29年12月に木津東バイパス（天神山線）の起工式が行われ、東中央線においても急ピッチで工事が行われている。</p> <p>同時進行の工事は、国の力の入れ方をうかがうことができる。</p> <p>国道24号と国道163号が重複道路のために起こる慢性的な渋滞の緩和として、また、緊急時の代替道路として、木津駅西と駅東が一体化されたまちづくりとして期待される。</p> <p>(1) 井関川橋上部工撤去が行われますが、それに伴う国道24号迂回路設置工事などで、かなりの渋滞などが心配されます。地元への説明の予定は。</p> <p>(2) 東中央線の（仮称）鹿背山高架橋の上部工事も粛々と進んでおり、（仮称）木津川橋は南の完成を待つのみとなっています。（仮称）木津川橋の北側は南の完成と同時に、すぐに接道の工事に取りかかるのか。</p> <p>(3) 宇治木津線は、山裾ルート案に決まった。城山台を通る東中央線のみ4車線となっており、他はすべて2車線です。変則的な車線幅に疑問を感じています。なぜ4車線にしなかったのか。</p> <p>宇治木津線は、何車線の予定なのか。2025年には大阪万博が決定になり、道路網の整備が急がれる。物流や観光等の経済効果の期待等が挙げられ、災害や事故等の緊急時の代替道路となる。是非とも4車線になるように進めるべきであると考えがどうか。</p> <p>(4) 市道335号は、せめて、歩道をシルバーカーやベビーカーが使用できるように、整備するべきであると考えがどうか。</p>
質問事項： 児童虐待防止対策は	
質問要旨	<p>11月は「児童虐待防止推進月間」である。今年2018年の標語は「未来へと 生命を繋ぐ189（いちはやく）」（「189」は児童相談所全国共通ダイヤルの番号）。</p> <p>今年は、3月に東京・目黒区で発覚した5歳児の痛ましい虐待死事件があり、7月20日には政府が「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」を公表するという、スピードのある展開であった。</p> <p>平成29年度の全国児童相談所における児童虐待相談対応件数は、速報値として13万3778件（前年度比1万1203件増）と公表された。これは過去最多で、統計を取り始めた1990年度から27年連続で増加している。</p> <p>本市においても通告件数は増加傾向にあり、更なる対策強化が必要と考える。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p>

質
問
要
旨

- (1) 過去5年間の通告件数は。
- (2) 児童相談所との連携は。
- (3) 予防対策の徹底が必要であると思うが、具体的な取り組みは。
- (4) 他市町村へ転出した場合などの事務引継ぎは。自治体間での連携やサポートは、どのように行っているのか。
- (5) 乳幼児に対する虐待は、乳幼児健康診査時に発見されるケースが多く、養育支援家庭を早期に発見することが重要である。虐待を未然に防止するため市は、健診の未受診児に対しどのような対応をしているのか。

平成30年第4回木津川市議会定例会（12月17日）

一般質問通告書

1 河口 靖子	
質問事項： 死亡時の手続きを丸ごと支援	
質問 要 旨	<p>市の高齢化は、今後も一段と進む中、一人暮らしの高齢者が増え、離れて暮らす家族が、故人が生前受けていたサービスを知らないケースも増えています。また、同居者がいても高齢の配偶者で、煩雑な行政手続きに対応しきれない例も目立っているのではと考えます。</p> <p>家族が死亡した時は、遺族は葬儀の手配など行政手続き以外にも多くの対応を迫られる中で、世帯主変更届の提出や、遺族年金等の請求、水道料金の名義変更など負担を極力減らしたいと思いません。</p> <p>そこで、世帯主変更や年金請求等の負担を軽くするために、ワンストップでできる窓口「ご遺族支援コーナー」の設置を考えてはどうでしょうか。</p>
質問事項： 市のペーパーレス化を	
質問 要 旨	<p>本年11月に石川県小松市へ「行財政改革の取り組みについて」として、総務文教常任委員会の管外行政視察を行いました。</p> <p>研修の成果として、平成29年より議案をペーパーレス化したことにより、紙とコピー代等に一定の効果があつたと行政側から説明を受けました。</p> <p>本市でも、議案書や会議資料の印刷には多くの紙を使用しており、ペーパーレス化を行うことにより、庁内全体の書類の使用料は相当削減でき、行財政改革につながると考えます。</p> <p>将来を見据え、ペーパーレス化を導入する考えはありますか。</p>
質問事項： 職員の残業と宿直業務の関係	
質問 要 旨	<p>労働環境を改善するため、政府が提唱している「働き方改革」のその背景には、少子高齢化・出生率の低下による労働力人口の減少や、長時間労働による健康への弊害、出産・育児・介護による働き方の制限など、さまざまな課題が挙げられています。</p> <p>勤務時間内に業務が終わらなかった場合には、残業をしなければなりません。この時の手続きはどのように行っていますか。</p> <p>台風時の対応や「木津川アート」などのイベントの事務処理など、特別な場合は仕方ないと理解しますが、深夜の長時間労働は、健康被害につながります。</p> <p>平時に深夜まで一人で残業している職員もあると聞きますが、最長の時間の規則はありますか。</p> <p>一方、本庁舎の宿直業務は、シルバー人材センターと契約しており、閉庁後の電話取次業務や、職員が退庁された後の庁内点検。最終的には、庁舎全体を機械警備にする業務があると聞きました。職員が深夜まで残業する場合には、宿直業務に携わる人が仮眠できない時もあると聞き及んでいます。</p> <p>職員の労働環境を改善するためには、一人一人の業務量や人間関係を含む職場環境の見直しが必要と考えます。事務の平準化、職員の「働き方改革」の方策について、答弁を求めます。</p>

2 谷口 雄一	
質問事項： 産後ケア事業のスタートを	
質問 要 旨	<p>平成28年度に保育コンシェルジュ、平成29年度には子育て世代包括支援センター「宝箱」を設置され、特に妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援の推進が図られてきました。</p> <p>一方で、出産した母親の10人に1人が、身近に相談できる者がいない等の不安な環境により、産後うつ等の症状が出るとの報告がなされています。</p> <p>そのような現状に対し、具体的な取り組みとして、国が推進する産前産後サポート事業や、産後ケア事業の実施が効果的であり、速やかなスタートが必要と考え、以下の通り質問いたします。</p>

質問要旨	<p>(1) 本市の過去5年間における出生数の推移は。</p> <p>(2) 子育て世代包括支援センターの役割としてワンストップ機能があるが、保育コンシェルジュと健康推進課との連携、役割のすみ分けはどうか。現時点までの実績は。</p> <p>(3) 産後ケア事業等は、府においても協議会を設置され、事業実施の推進が図られている。府内で先行している市町の取り組み状況はどうか。</p> <p>(4) 本市における事業実施の計画はあるのか。また、課題はどのようなものを想定しているのか。</p> <p>(5) さらなる展開として、産婦健診事業の検討は。</p>
質問事項： 地域活動支援交付金のあり方を問う	
質問要旨	<p>本市では、合併当初より行政地域制度の推進にあたり、地域長会議の開催と合わせて、行政と地域コミュニティとの円滑な意思疎通を図るために、地域活動支援交付金が活用されてきました。このたび、8月に策定された第3次行財政改革行動計画において、見直しの方向性が示される中、改めて今後のあり方についてどのように考えているのか、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 平成29年度の地域活動支援交付金の実績と、今後の見直しの内容は。また、その背景についてはどうか。</p> <p>(2) 関連して、平成29年度の自主防災組織等への活動助成金の実績と、決定した見直しの内容は。同じく、その背景についてはどうか。</p> <p>(3) それぞれ地域性が異なる中で、交付事業内容について、どのような方向性を考えているのか。</p> <p>(4) 今後も市民や地域コミュニティとの協働、協力は大変重要である。このたびの見直しについては、前向きな視点による丁寧な説明が必要と考えるが、地域長等への対応はどうするのか。</p>

3 酒井 弘一	
質問事項： 城山台9丁目の造成工事	
質問要旨	<p>9月議会において、市長は城山台の土地をめぐる私の質問に「係争中の案件なので答弁を控える」と述べ、答弁を拒否した。改めて、城山台9丁目の造成工事について質問する。</p> <p>(1) 城山台9丁目では、現在、平地の造成工事が進んでいる。これまで天神山線工事から出された土砂の「仮置き」とされていたが、どのような経過で「造成工事」をすることになったのか。</p> <p>しかも、市が行う工事ではなく、京都国道工事事務所が行っていると聞く。経緯の説明を求める。</p> <p>(2) 現在ある調整池（沈砂池）は小さい。拡張または増設を行うのか。</p>
質問事項： 木津東バイパスの工事	
質問要旨	<p>国道163号のバイパス工事の中の重要な部分である木津東バイパス（天神山線）について質問する。</p> <p>(1) 国道163号バイパスの建設工事について、中でも最も遅れている木津東バイパスの完成と、供用開始のめどはどうか。</p> <p>(2) 木津東バイパスの道路線形と工事の進捗状況を聞く。</p> <p>(3) この工事現場から雨が降るたびに小川に濁水が入っている。関係の農家から強い不満と困惑の声が聞かれるが、どのように対応しているか。また、濁水の流入を防ぐ根本的な対策をどうするか。</p>
質問事項： 地域活動支援交付金の削減を問う	
質問要旨	<p>市は、11月12日に開催した地域長会議で、行政地域に対する地域活動支援交付金の削減を提案したと聞くが、この件の経過と市の考えを聞く。</p> <p>(1) 削減の内容、削減の理由、地域への説明の経過は。</p> <p>(2) 会議の場での地域長の反応はどうだったか。</p> <p>(3) この件に関する地域長会議の結論（結果）はどうか。また、結論は出ているのか。</p>

4 谷川 光男	
質問事項： コミュニティバスの経路見直しを	
質問 要 旨	<p>コミュニティバス等は、市民の皆様にとって使いやすく、満足度の高い地域公共交通づくりを目指して11年が経過しました。</p> <p>その間、停留所の変更や新規追加するなど、利用者の増加に取り組まれましたが、ここ数年一日乗車券の販売状況は増加しているにもかかわらず、年間26万人余と横ばいの状況にあります。</p> <p>南加茂台地区は高齢化が進んでいますが、利用者は減少傾向となっています。今後、引き続き継続運行をするため、利用者にとって利便性のある地域公共交通計画に見直す時期と考えます。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 山城・加茂地域路線を、土・日・祝にも運行する考えは。</p> <p>(2) 利用者が少ない時間帯の見直しは。</p> <p>(3) ルートの見直しの考えは。</p> <p>提案1 南加茂台線東山公園をきのつバス(木一1)の梅谷へ延長を</p> <p>提案2 きのつバス(木一3)木津川台住宅からけいはんなプラザ学研都市病院を経由して、祝園西口へ延長を</p> <p>提案3 棚倉駅から祝園駅への新設路線を</p> <p>(4) 精華町の「くるりんバス」と木津川市の「コミュニティバス」を相互広域連携・協力する考えは。</p>
質問事項： 地域防災力の充実強化を	
質問 要 旨	<p>今年は、大阪府北部を震源とする地震や、平成30年7月豪雨など大規模な災害が発生しました。このような災害は、木津川市でも発生する可能性があります。そのためにも高齢者にはよく分かるマップ等を提供し、防災意識を高めることが重要であります。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 高齢者世帯への情報提供手段の現状は。</p> <p>(2) 戸別受信機の予算廃止後、高齢者世帯へ戸別訪問されていますが、その取り組み状況は。</p> <p>(3) 携帯電話を持っていない方や、ファクスがない家庭に対しては、戸別受信機が必要と考えるが、個人での購入希望者への対応は。</p> <p>(4) 屋外スピーカーによる聞こえにくいなどの情報伝達の不備は、解決したのか。</p>
質問事項： 空家・空地・放置された農地の対策は	
質問 要 旨	<p>今年も師走を迎え、平成も残り少なくなりましたが、旧集落では空家・空地が目立ち、放置された農地も増加傾向にあります。安全性や環境面の観点から、行政は管理者への指導を適正に実施されていると思われませんが、昨年からの状況を見ますと指導効果が薄いように思います。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 空家の調査結果に基づいて、どのように対策したのか。</p> <p>(2) 市街化区域内における雑草等の行政指導は。</p> <p>(3) 空家・空地の所有者不明の土地の現状と課税は。</p> <p>(4) 数年放置された農地の対策は。</p>

5 森本 隆	
質問事項： 公共交通政策の取り組みを問う	
質問 要 旨	<p>2018年10月に国土交通省公共交通政策部から発行された『公共交通政策の現状と課題』によると、高齢者の運転免許返納件数は、近年大幅に増加し、平成16年から平成26年の10年間で100万人の運転免許非保有者が増加し、全国で65歳以上の免許非保有者数は、約1700万人と増加し、将来の移動手段への高まる不安は、全国で高まっている。</p> <p>そのような背景のもと、平成26年11月に施行された『地域公共交通の活性化及び再生に関する法律』の改正を受けて平成27年3月に作成された、『木津川市地域公共交通網形成計画』(平成27年度～平成31年度)の成果と課題について、以下の内容を問う。</p> <p>(1) 市の運転免許返納件数は。また、今後どのような見通しか。</p>

質問 要 旨	<p>(2) 『木津川市地域公共交通網形成計画』の5年計画のうち3年半が過ぎた。また、上位計画の「第2次木津川市総合計画」策定の最終段階にきている中、市の公共交通に関する取り組みの成果と課題は。</p> <p>①まちづくりと連携した公共交通戦略は。②鉄道網の充実は。③コミュニティバスの充実は。</p> <p>(3) 本年10月末に実施した友好都市である京丹後市との議会研修において、公共交通施策報告を聞いて、地域毎に特色のある新しい政策をされていることを学んだ。全国で、ICTを活用した新しい取り組みがされているが、市の新しい取り組みの考えは。</p> <p>①Uberの採用。②自動運転バス等の実証実験。等</p>
質問事項： 災害対応の取り組みを問う	
質問 要 旨	<p>平成30年は、大阪府北部地震、台風21号、台風24号の自然災害が発生し、市の災害対応能力が問われた年であった。</p> <p>市は、平成20年3月に『木津川市地域防災計画』を作成し、その後、毎年見直しを実施して、危機管理体制の充実を図るとともに、職員のみならず、関係団体とも連携を強化し、災害対応能力の向上を図る取り組みを継続して実施してきた。また、木津川の増水で災害が発生した際の各機関の対応を、時系列で整理した「タイムライン（防災行動計画）」の案を平成30年11月に関係者に提示した。このような、情報共有を図る取り組みを評価する。</p> <p>このような背景のもと、市の防災計画について、下記内容を問う。</p> <p>(1) 災害発生時における避難情報の市民への伝達手段と、現状の課題について。</p> <p>(2) 災害が発生した時のBCP（Business continuity plan：事業継続計画）の内容と課題について。</p> <p>(3) 災害復旧計画において、被災者支援策（税の減免、見舞金支給 等）の考え方と具体内容について。</p> <p>(4) 『木津川市地域防災計画』は、全文480ページになる膨大な内容となっている。 重要なポイントについて、市民への周知と小中学生への教育が重要であると考え、具体的な取り組みは。</p>

平成30年第4回木津川市議会定例会（12月18日）

一般質問通告書

1 高岡 伸行	
質問事項： 市民サービスの低下は最小限に	
質問 要 旨	<p>山城支所は、10月より7人から4人体制になりました。社会教育施設を利用するにあたり、中央体育館もしくは加茂文化センターまで出向き、申し込み手続きを行う必要があります。そこで、質問します。</p> <p>(1) 山城支所で申し込みが、なぜできなくなったのですか。</p> <p>(2) 住民サービスの事を考えると、山城支所及びアスパやましろでも申し込みができるようにすべきでは。</p>

2 九社前 聿朗	
質問事項： 夏季休業期間変更による課題を問う	
質問 要 旨	<p>新学習指導要領の改訂は、移行期間を経て、小学校については、平成32年度から、中学校については、平成33年度から全面実施される。特に、小学校3・4年生では、外国語活動の時間が新設され、また、5・6年生では外国語の教科が新設され、3年生以上の授業時間も35時間の増加となる。</p> <p>そのため、教育委員会は、授業時間の確保のため、夏季・冬季・学年末の3回の休業期間のうち、なぜ、夏季休業期間の後半を見直しされたのかについて、下記の質問する。</p> <p>(1) 学校教育法施行令に基づき、授業時間数を確保し、余裕を持った教育活動を実施することは理解できるが、他の休業期間を見直すことは、教育委員会等で検討したのか。</p> <p>(2) 長期休業期間明けによく起こる児童生徒の環境変化による情緒不安定等の問題について、本市の現状と学校生活へ復帰するため、どのように指導・対応しているのか。</p> <p>(3) 改正による授業時間の拡大に対し、全国的には、平日の授業時間数を増加することにより、対応する市町村が過半数と聞いているが、平日で対応することも教育委員会で検討したのか。</p> <p>(4) 戦後初めて小学校に英語教科が新設導入される重要な時である。人生における選択肢の幅を広げられるよう、毎年小学校6年生と中学校3年生に英検等を受験しては。また、体験的な国際交流と国際理解を深めるため、外国人を対象とした「ふるさと応援ガイド体験学習」を導入してはどうか。</p> <p>(5) 夏期休業期間の短縮により、給食費の増額が予想される。平日の授業時間数の増加であれば、増加とならない。増加分は、市が負担するのか。</p> <p>(6) 教員の時間外勤務への影響は。また、児童クラブとの連携は。</p>
質問事項： 放課後児童クラブの課題解決を	
質問 要 旨	<p>放課後児童クラブは、全国的に全体の5人に1人が入所していると言われている。</p> <p>平成27年の法改正により、対象児童が「おおむね10歳未満」から「小学校に就学している児童」へと改正されてきた経過がある。</p> <p>先日、議会報告会の木津会場において、児童クラブに通っている保護者から今後の城山台児童クラブの運営について、心配されている声を聞いた。そのことについて、質問する。</p> <p>(1) 城山台児童クラブは、今年4月に新設されたばかりなのに、4年生に待機児童があり利用できていないと聞く。市は、現状を把握しているのか。</p> <p>(2) 城山台地区は、平成24年のまちびらき以来、人口が急増している地区である。城山台児童クラブの面積と収容予定人数は。また、国の基準に適合しているのか。</p> <p>(3) 城山台小学校は、児童数が将来1,000人を超えると予想されている。平成31年度以降も対応できるか不安視されている。総合教育会議への説明や市の総合的な児童の放課後対策を保護者に示すべきであると思う。</p>

	また、指導員は、低学年と高学年とでは児童への関わり方が違う。これらの将来予想等について、具体的な内容・方策を提示されたい。
質問事項：市のまちづくりについて	
質問要旨	<p>1 城陽井手木津川線については、市の第2次総合計画（案）でも道路の計画が示され、今後、京都府都市計画審議会で都市計画決定の手続きが行われる予定である。 市は、この道路を山城地域を通過するだけの道路にするのではなく、政策分野で産業・農業・観光交流で街づくりを進める具体案を持っているのか。</p> <p>2 相楽中部消防本部は、城山台9丁目が建設候補地となっている。 この場所の周辺は、すでに宅地開発され住宅が建っており、市民の方からは、「消防本部庁舎が建設されることは、市及び自治会から何の説明も聞いていません。」と聞いている。 市当局には、説明責任があると思うが、今後の対応は。</p>

3 宮嶋 良造	
質問事項：ごみ袋有料を中止せよ	
質問要旨	<p>1 10月の可燃ごみ有料化の前後で、ごみの排出量がどのように変化しましたか。 （有料前の燃やすごみ・廃プラごみ・燃やさないごみ・容器包装プラビニごみ・ペットボトルごみ・粗大ごみ、有料後の可燃ごみ・燃やさないごみ・容器包装プラビニごみ・ペットボトルごみ・粗大ごみのそれぞれ8月～11月の月毎の排出量を比較）</p> <p>2 10月以降のごみ収集の状況や市民からの問い合わせや苦情の内容を報告してください。（例えば、可燃ごみが有料袋で出されていない状況、ペットボトルなど収集形態が変わったごみの状況、不法投棄の状況、市民からの問い合わせ・苦情など）</p> <p>3 可燃ごみ有料について、市民への周知と市民の理解と協力が不足しているのではないですか。</p> <p>4 分別方法を元に戻すべきです。廃プラごみは、有料以前の透明または半透明袋での排出を認め、可燃ごみと一緒に収集してはどうですか。</p> <p>5 キャップやラベルの付いたペットボトルを回収しないのはなぜですか。</p> <p>6 ルールが守られず、回収されていないごみも一旦回収し、ごみステーションを清潔に保ち、丁寧に市民の理解と協力を求めるべきではないですか。</p>
質問事項：コミュニティバスは福祉事業	
質問要旨	<p>1 コミュニティバスの利用状況を報告してください。</p> <p>2 利用者が増加している路線と減少している路線で、利用者の増減要因は何ですか。</p> <p>3 コミュニティバス利用者は、高齢者や女性、高校生などいわゆる交通弱者です。移動の自由を保障するために、福祉事業に位置づけたらどうですか。</p> <p>4 利用者が減った理由は、料金の値上げです。運賃を引き下げてはどうですか。</p> <p>5 山城バスを休日にも運行し、祝園駅への延伸を行ってください。</p> <p>6 きのつバスの延伸をけいはんなプラザと旧鹿背山分校まで行ってください。</p> <p>7 きのつバス利用者が木津町時のスタートから300万人を超えました。これを生かし更なる利用促進キャンペーンを行ってはどうですか。</p>
質問事項：学校の洋式トイレ化は急務	
質問要旨	<p>1 山城中学校の洋式トイレの設置状況は、これまでの議会答弁とは違うことが明らかになりました。議会に対し訂正と謝罪を求めます。洋式トイレ増設の緊急の対応策を求めます。</p> <p>2 各学校で、体育館を除く各校舎内に、男女それぞれいくつの洋式便器がありますか。児童生徒数に対する割合はいくつですか。</p> <p>3 9月議会での質問が途中になったので、以下もう一度聞きます。 小中学校での洋式トイレの整備方針（洋式化率約50%）は、周辺自治体より低いので、洋式化率80%に引き上げるべきですが、いかがですか。</p>

質問要旨	<p>4 2017年（平成29年）3月に、これからの整備は「学校施設の老朽化に伴う大規模改修時に合わせて改修する」「教育施設の総合管理計画を策定した後と考えている」と答弁しました。大規模改修が必要な学校と、その予定は。また、総合管理計画の策定期間はいつか、お答えください。</p> <p>5 直ちに、洋式トイレの設置率の引き上げと設置工事の年次計画を作るべきです。</p>
質問事項： 教職員の超過勤務を是正せよ	
質問要旨	<p>1 小中学校で教職員の勤務実態はどのように把握していますか。そこから超過勤務の実態はどうですか。また、その原因は何ですか。</p> <p>2 教職員の健康状況はどんな状況ですか。休職などもありますか。どのように現場復帰を図っていますか。</p> <p>3 超過勤務を是正するためにどのような方針を持ち、どのような対策を講じていますか。</p> <p>4 抜本的な解決には教職員の増員が必要です。そのために、どのように取り組んでいますか。</p>

4 柴田 はすみ	
質問事項： 城山台のまちづくりを問う	
質問要旨	<p>城山台は平成24年5月、木津中央特定土地地区画整理事業により、まちびらきをした。10月末現在で世帯数2,031世帯、人口6,102人となり、今なお、住宅開発が進んでいる状況である。特に、若い世代の入居が多く、未来性のある街となっている。</p> <p>先日、城山台地区の若いお母さん方とお話をする機会があり、多くの意見を頂いた。市としてまちづくりは進んでいると思うが、子育て環境等について、どのように取り組んでいくのか質問する。</p> <p>(1) 城山台小学校の来年の入学予定者数と、今回請願が出されている放課後児童クラブの現状と今後の見通しは。</p> <p>(2) 中学校区は、木津中学校となっているが、自転車通学路に危険な箇所があるか把握しているのか。</p> <p>(3) 城山台公園（大仏鉄道公園）は遊具がなく、子供を遊ばせられないと聞くがどうか。</p> <p>(4) 以前は実施していたチャイルドシートの貸し出し事業の実施を望む声を聞くが、市の考えは。</p> <p>(5) 近くの保育所に入りたくても入れないとの声に、保育園バスの運行を行っては。</p>
質問事項： 市民の健康を守るために	
質問要旨	<p>特定検診や、がん検診は個別検診の導入により受診者数は上昇した。これは集団検診の場合は、広報での周知と、対象者個々への受診券の送付のみであったのに対し、医師会の各会員の積極的な受診勧奨によって、受診者が増加したと考える。また、受診者が日時、場所及び検診方法を自由に選択できるようになったことも、要因であると思う。</p> <p>しかし、まだ受診率は低く、より多くの人を受診することができる手立てが必要であるのが現状だ。少しでも市民が検診を受けやすい環境整備に力をいれるべきであると考え、以下の点について質問する。</p> <p>(1) がん検診と特定検診を同時に受診ができるようにしては。</p> <p>(2) 検診の申し込み書にオプトアウト方式を取り入れては。</p> <p>(3) 抗がん剤の副作用により脱毛するケースをよく聞く。特に女性は、ウィッグを付けないと外出するのが億劫になるし、購入するのも高額である。多くの自治体で半額等の助成制度を行っているが、市の考えは。</p>
質問事項： 住民サービス向上のため総合窓口を設置し、ワンストップサービスを	
質問要旨	<p>近年、各種行政サービスを1カ所で行う「総合窓口」を設置する自治体が増えている。</p> <p>木津川市は、住宅開発等により新しく転入してこられる方も多く、様々な手続きが必要なため、担当課をまわるのが大変であるとの声を聞く。</p> <p>また、支所の再編により、高齢者の方からも「引っ越し等の手続きが大変であった」との声も聞いた。</p> <p>先日、総務文教常任委員会の管外研修で訪れた小松市、射水市にも総合窓口があった。以前も質問したが「設置する考えはない」との答弁であったが、現在の市の考えは。</p>

